

# 中部圏の将来像と実現に向けた基本方針(案)

## ■これまでの検討経緯

平成 18 年 8 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	設立
平成 18 年 9 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 1 回全体会議
平成 18 年 10 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 2 回全体会議
平成 18 年 10 月	国土基盤関係、持続可能な国土管理	グループ会議
平成 18 年 11 月	ライフスタイル・生活、自立地域社会	グループ会議
平成 18 年 12 月	国際交流（産業展望、東アジア連携）	グループ会議
平成 18 年 12 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 3 回全体会議
平成 19 年 1 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 1 回幹事会
平成 19 年 2 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 1 回WG（グループ別合同）
平成 19 年 3 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 2 回幹事会
平成 19 年 5 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 2 回WG（グループ別合同）
平成 19 年 6 月	中部圏広域地方計画協議会準備会	第 3 回WG（グループ別合同）

## ■中部の抱える問題点、課題

### ◇愛・地球博後の環境への取り組みの継続

- 中山間地域の過疎化などによる自然環境の荒廃への対応
- エネルギー・温暖化対策や3R推進などの循環型社会への取り組み
- 自然など環境に対する市民意識の醸成と取り組みの推進

### ◇モノづくりを中心とした産業競争力の維持・強化

- 人口減少時代における産業人材の育成・確保
- 経済発展を遂げる東アジアとの交流・連携
- 国際的な物流基盤、ネットワークの不足の解消

### ◇海外における知名度向上と国内外交流の拡大

- 多様な交流資源の掘り起こしと活用による集客交流の拡大
- 海外での知名度向上と外国人観光客の取り込み
- 魅力の発信による国際交流の拡大

### ◇豊かな生活環境の実現

- 多様な価値観、ライフスタイルへの対応
- コンパクトでにぎわいあふれるまちづくりの推進
- 地域資源などを活かした地域活性化の取組
- 地域コミュニティの衰退や地域間格差の拡大

### ◇大規模地震など災害への対応

- 自然災害に脆弱な都市インフラ、孤立集落発生の懸念と減災への取組
- 安全、安心な生活環境実現に向けた取組
- インフラの老朽化への対応とアセットマネジメントの推進
- 予測困難な危険事案に対する懸念

## ■計画策定にあたっての基本スタンス

### 日本の「まんなか」として国土の発展への寄与を踏まえつつ 持続的に発展可能な圏域の構築を目指す

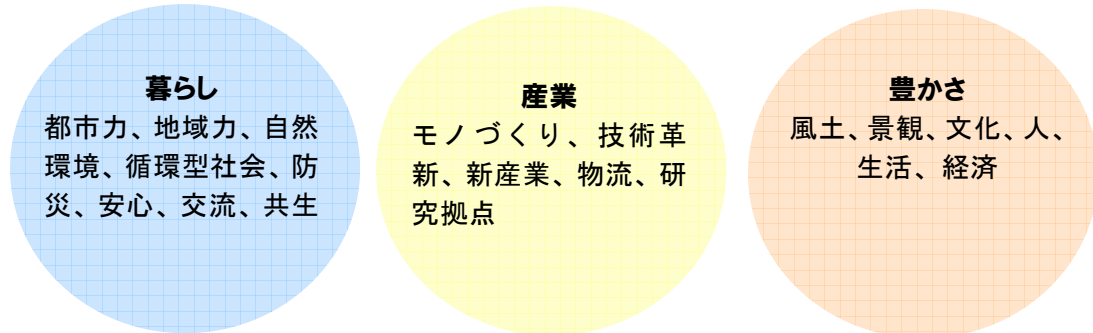
中部圏はわが国の人口重心が位置し、国土の南北軸、東西軸の結節する「まんなか」圏域です。この「まんなか」であることを前提に中部らしい広域圏の形成を図り、「まんなか」であることを活かして、他広域圏との連携を図ることで、新しい国土を支える自立圏の形成を目指していきます。

## ■中部圏の将来像

### 日本のまんなかから世界に誇れる中部へ

#### 『世界に誇れる暮らしと産業を創造する豊かな中部』

人口減少やグローバル化のさらなる進展、価値観の多様化など目まぐるしく変化する時代の中でも、暮らしや産業、風土など様々な面でわが国および世界で存在感のある自立圏の形成を目指します。



※下記の基本コンセプトの構成内容（環境、産業、交流、暮らし、防災）から導き出される将来像を表現しています。

## ■将来像実現に向けた計画の基本方針

### 【持続可能な環境共生社会を実現する環境圏域の形成】

2005年に開催された「愛・地球博」を契機とした、環境に対する新たな市民意識と様々な主体による環境への取組を継承し、地球環境負荷が少なく、中部山岳地域や伊勢湾などの多様な自然環境が保全された持続可能な環境共生社会の形成を目指します。

### 【世界のモノづくりの中心地としての産業競争力の強化】

これまで中部圏はモノづくりの中心地として、わが国経済の国際的な競争力の源泉となってきました。近年、東アジアの高度成長、産業高度化など世界規模で市場環境が変化していますが、そのような中でも、世界のモノづくりの中心地として日本経済を支える産業競争力を引き続き確保するための取組を進めます。

### 【中部の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大】

中部圏の有する自然や歴史、文化など多様な資源の掘り起こしと活用による圏域内、および他広域圏との交流の拡大を図ります。また、外国人観光客や海外企業の誘致など、国際的な交流の拡大に向けた取組や、人材育成など交流を支える土台づくりに向けた取組も進めていきます。

### 【誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現】

中部圏の地域構造は分散型で多様な地域特性を有しています。また、価値観の多様化など人々のライフスタイルが多様化しています。そのような多様性に対応した豊かな暮らしを実現するための取組を進め、誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現を目指していきます。

### 【災害に強い安全・安心な地域づくり】

近い将来発生の予想される東海地震、東南海地震等大規模地震や多発する自然災害の減災に向けた取組、予測困難な危険事案への対応など、人々が安全・安心に生活できる地域づくりを進めていきます。